

おもいやり

2022年12月 Vol. 7

足利市人権推進広報紙 第7号
発行 令和4年 12月 1日
足利市行政経営部 人権・男女共同参画課
電話：0284-70-8600
ファックス：0284-73-8066
E-mail：jinken@city.ashikaga.lg.jp

「パートナーシップ宣誓制度」の開始と 「国民体育大会」

令和4年9月から10月にかけて、栃木県内では、第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」において、足利市では37正式競技のうち、「レスリング」など4つの正式競技を開催しました。また、第22回全国障害者スポーツ大会「いちご一会とちぎ大会」を開催しました。

国内最大のスポーツの祭典である国体が栃木県で開催されるのは、昭和55年の「栃の葉国体」以来、42年ぶりでした。佐賀県（第78回）の大会から、「国民スポーツ大会」に名称が変わることが決まっており、『国体』という名称での実施は、今回の栃木県開催が最後となるそうです。

この「国体」の時期に合わせて、栃木県では「とちぎパートナーシップ宣誓制度」を始めました。日本スポーツ協会では、「体育・スポーツにおける多様な性のあり方ガイドライン」を作成しており、選手や指導者、全てのスポーツ関係者の性的指向や性自認について理解を深めて行動することを目指しています。栃木県も、このガイドラインを踏まえた対応を国体に合わせて実行しています。

さて、皆様は、この「パートナーシップ宣誓制度」の内容などをご存知でしょうか。性的少数者（性的マイノリティ）の方々が民法上の婚姻届を提出することが出来ないために生ずる生きづらさを少しでも解消していくため、宣誓制度を利用することで、婚姻に準じた、一部サービスが可能となるものです。

簡単に申しますと、同性のカップルなど結婚が出来なかったことにより、家族や夫婦として利用出来なかったことが、宣誓制度を活用することで、少しでも出来るようにしていこうという制度です。例えば、宣誓することにより、北関東三県で共通の割引サービスなどを受けることが出来る夫婦のための「とちぎ結婚応援カード（とちマリ）」を交付してもらうことが出来るようになりました。足利市でも、市民向けサービスとして足利市営住宅の申し込みをすることが出来るようになっていきます。

現在の日本の法律では、「同性婚」は認められておりません。そのため、パートナーシップ宣誓制度の宣誓をしても法律によって決められた婚姻により生ずる配偶者としての相続を受けることなどは出来ません。しかし、多少であっても、制度を利用することによって性的少数者の方々にとっても、暮らしやすい社会になるようにしていきたいと考えています。



何ができるようになりますか？

足利市では「とちぎパートナーシップ宣誓制度」の宣誓カードを提示すると、婚姻されたカップルと同様に、足利市営住宅への入居申し込みが出来るようになります。

詳しくは

足利市 パートナーシップ宣誓

検索

令和4年度 小学生人権書道コンテスト・ 人権啓発ポスターコンテスト 受賞者

主催：足利市・足利人権擁護委員協議会足利部会

厳正な審査の結果、最優秀賞・優秀賞・佳作が決定しました。
最優秀賞となった方々は、次の方々です。おめでとうございます。



ポスター 最優秀賞：4名

- 三重小学校 2年 齋藤 茜音さん
- 小俣小学校 4年 鯉沼莉衣奈さん
- 筑波小学校 5年 田村 希彩さん
- 北中学校 2年 前原 桜子さん

書道 最優秀賞：8名

- 毛野小学校 3年 足立 瑠愛さん
- 矢場川小学校 3年 阿部萌々華さん
- 山辺小学校 4年 野村 爽華さん
- 御厨小学校 4年 田沼 遥花さん
- 南小学校 5年 原 萌衣さん
- 坂西北小学校 5年 曾根 佑斗さん
- 北郷小学校 6年 坂戸 佑衣さん
- 葉鹿小学校 6年 武藤 杏詩さん

ひとひとのフォーラム足利2022(12月3日)にて、最優秀賞・優秀賞に入賞された方の表彰を行います。同時に、ギャラリーにて佳作を含めた受賞作品の展示を行います。

令和4年度 ポスターコンテスト 最優秀賞作品



三重小学校 2年
齋藤 茜音さん



小俣小学校 4年
鯉沼 莉衣奈さん



筑波小学校 5年
田村 希彩さん



北中学校 2年
前原 桜子さん

※ 表彰式終了後、足利市のホームページに
全受賞者の氏名や学校名・学年を掲載します。

各コンテストの作品は、毎年市内の小・中学校を通して
募集依頼をさせていただきます。

人権に関連する動画等

足利市HP内に入権関連の
動画へのリンクがあります。

右記二次元コードから
ホームページをご覧ください



人権啓発活動紹介⑦

人権擁護委員による「人権教室」の実施

人権擁護委員は、学校等からの要望で、人権講話などを行っています。令和4年7月1日には、足利市立東山小学校において「人権教室」が実施されました。

児童たちは、朝の登校後、クラスルームで人権に関

係する動画をリモートで視聴したり人権擁護委員の方々の話をお聞きしたりしました。

その後、学級ごとで担任の先生が学年に合わせた各々の方法で、人権について児童たちと学習をしました。参加した人権擁護委員たちは、東山小学校の校長先生の案内で、各学級をまわり、それぞれの学級で様々な方法で児童に説明する教諭の姿を見て、改めて「人権」に向き合っていたようです。

実は、この東山小学校の元校長先生が人権擁護委員として参加しており、教室を回ると多くの児童や教諭と顔を合わせ笑顔も見えました。



令和4年度「人権の花」運動について

足利市立毛野小学校

足利市立山辺小学校

足利市立山前小学校

足利市立葉鹿小学校

～足利市内の4小学校に花の苗を届けました!～

足利市では、市立小学校22校と県立の支援学校2校のうち、毎年4校ずつに花の苗を贈呈しています。子どもたちは、学校で花を育てるとともに、子どもたち自身も「相手を思いやる心」を育てています。この運動は、足利市のみではなく、全国で実施されています。

令和4年度は、毛野小学校、山辺小学校、山前小学校、葉鹿小学校の4校に人権擁護委員を通じて、サルビアの花苗などをお贈りしました。新型コロナウイルス感染症が流行する前は、体育館などで全校児童が集まって実施していた贈呈式は、放送室などと各教室をリモートで結んで行うなど、密にならない「ウイズコロナ」の贈呈式に変化してきています。

植えられた花の苗のそばには、「人権の花」運動

で育てていることが分かるように看板が立てられていますので、小学校に行かれた際には、看板とともに綺麗に咲いた花が、皆様の目に留まるかもしれません。



山辺小学校での贈呈式

ひと to ひとのフォーラム足利2022 チラシ

ひと to ひとのフォーラム足利 2022

12月3日 土 あしかがフラワーパークプラザ (足利市民プラザ) 小ホール ほか 足利市朝倉町264番地 11:30 ▶ 16:30

入場無料 予約不要

- ・表彰式 (小ホール) 人権ポスター・書道・作文コンテスト 13:00▶13:50 作品展示ギャラリー (西館401号室) 11:30▶16:30
・人権特設相談 予約不要 人権週間・特設相談 (本館2階相談室) 12:00▶14:00
・映画上映会 (小ホール) 誰も知らない 14:00▶16:30



ホームページ



誰も知らない 是枝裕和監督作品

(C) 2004-2007 『誰も知らない』製作委員会

定員 150名

手話通訳あり

- ・詳細は市のホームページをご覧ください (上記の二次元コードから確認できます)。
・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、入場の際に「手指消毒」など、ご協力をお願いいたします。また、状況によって、内容の変更や開催を中止する場合があります。

毎年12月4日~10日は人権週間

(主催) 足利市/足利市教育委員会/宇都宮地方方法務局足利支局/足利人権擁護委員協議会足利部会/ 足利市人権教育推進本部/足利人権啓発活動地域ネットワーク協議会/ ひと to ひとのフォーラム足利2022実行委員会 (問合せ) 足利市 行政経営部 人権・男女共同参画課 電話: 0284-73-8080

参加申込書 必要事項を記入のうえ、当日、会場の受付に提出してください

Table with 3 columns: (ふりがな) お名前, 住所, 電話番号

※「ひと to ひとのフォーラム足利2022」に関する連絡のみに使用いたします。

二次元コードは下記のものを 使用ください。



題字の「おもいやり」とは

「足利市には日本遺産・足利学校があります。そして学校には論語があり、今、小学生たちも論語の素読をしています。その論語の中に「恕」*の言葉があります。足利市民は互いに認め合い、思いやり、住み良い、明るい街にしていきたい」との思いから名づけられました。 *「恕」・・・「思いやり」のこと。 「子貢問いて曰わく、一言にして以て終身之れを行うべき者有りや、と。 子曰わく、其れ恕か。己の欲せざる所、人に施すこと勿かれ、と。」 (書き下し文：足利市教育委員会編集・発行「論語抄」から)